

九工大TOPICS

北九州市長がニューロモルフィックAIハードウェア研究センターを視察されました

- ニューロモルフィックAIハードウェア研究センターでは、ひびきの学研都市を産学官共同で次世代脳型AIシステムの世界的研究拠点とするための活動をしています。



フランス・ロレーヌ大学との国際交流 20周年記念行事を開催しました

- 両大学の学長、副学長、教職員、学生、卒業生、そしてフランス大使館関係者らが戸畑キャンパスに一堂に会しました。



『北九州SDGsアントレプレナーシップ教育プログラム』を開催しました

- JST・EDGE-PRIME Initiative による支援を受け、高校生などへアントレプレナーシップ教育を展開しています。



JAXA若田宇宙飛行士の講演会を開催しました

- 戸畑キャンパス GYMLABOにJAXA宇宙飛行士の若田光一氏が来学し、三谷学長を表敬訪問した後、宇宙システム工学を学ぶ日本人学生・留学生を対象に講演会を開催しました。



JST戦略的創造研究推進事業 ALCA-Nextに採択されました

- 九工大ニューロモルフィックAIハードウェア研究センターと、同センター外部委員の公立はこだて未来大学と共同で、提案した「超低消費電力マテリアルベースAIエッジシステムの開発」が採択されました。
- 同センターはNEDO事業2件、若手NEDO事業2件、JST-CREST1件にも採択されており、現状のAIチップの電力効率をはるかに凌駕する高性能な次世代AIエッジシステムを開発し、カーボンニュートラルの実現を目指しています。



株式会社SUMCOが包括協力協定を締結しました

- 今後、半導体シリコンウェーハの高品質化や生産効率向上に関する研究開発や実証実験、データサイエンス・人工知能(AI)業界をけん引するトップ人材の育成などで産学の連携をより一層推進します。



マイナビと「産学連携に関わる包括協力協定書」を締結しました

- ・アントレプレナーシップ教育及びアセスメントツールを活用した学修成果の可視化を目指します。

【具体的な取り組み内容】

- ・社会人基礎力向上のための教育プログラムの実施。
- ・『マイナビ2025』内の適性診断ツール『キャリアデザインツール 適性診断MATCH plus』を活用した「アントレプレナーシッププログラム」の受講。

立命館アジア太平洋大学・飯塚市と連携協力に関する協定書を締結しました

- 三者が相互に連携し、グローバル理系人材をはじめとした人材の育成、地域経済の活性化等を通じ、多様な人材から学ぶ場所として選ばれる大学及び飯塚市を目指すため、連携協力に関する協定書を締結しました。



2024年4月9日～14日の6日間、天皇杯・皇后杯 第40回飯塚国際車いすテニス大会において、APU学生と共にボランティア活動を行いました



第4回九工大起業家コンテストを開催しました

- ・ 九工大起業家コンテストは、若手人材の起業家精神を育成し、スタートアップを加速するためのビジネスコンテストです。



宇宙・衛星開発アントレプレナーシップ教育プログラム「Space Business Bootcamp」を開催

- JST・EDGE-PRIME Initiativeによる支援を受け、高校生などへアントレプレナーシップ教育を展開しています。その一環として、2023年11月から2024年2月まで合計5回にわたり、宇宙に関心のある中高生を対象としたプログラムを開催しました。



タイ・キングモンクット工科大学北バンコク校に設置した本学のサテライトオフィスの開所式を行いました

- ・リノベーションされたサテライトオフィスは、合同会議、学生リクルート、学生交流、協働プログラム、訪問教職員のステーション、大学情報発信の場となります。



北九州市・GZキャピタル(株)とロボット技術等の社会実装に向け連携協定を締結

- ・産学官によるものづくり&テック系スタートアップ等の支援を始動しました。
- ・ロボット技術等の社会実装に向け、北九州イノベーションセンターを拠点に、産学官で連携して研究開発及び実証実験、人材育成等を共同で推進することを目指します。



女子中高生のための「テック×デザインラボ」を開講しました

- 株式会社YEDIGITALと共同で、学校での「学び」と将来の「キャリア（特にエンジニア及びその周辺の職種）」の関わりを感じていただくことを目的として、プログラミングを中心としたワークショップを5回にわたり実施しました。



日本経済団体連合会と九州経済連合会が マイクロ化総合技術センターを視察

- 「第74回 九州経済懇談会および視察会」において、九州工業大学の半導体人材育成の取り組みを視察されました。
- センター内のクリーンルームにて、半導体チップを試作する社会人実習セミナーが開催されており、その状況も視察されました。



株式会社ディー・エヌ・エー代表取締役会長の南場智子氏による講演会を開催しました

- 学生プロジェクト成果発表会における特別講演会で、スタートアップに関する講演を行っていただきました。
- 南場氏は、日本経済団体連合会副会長。横浜DeNAベイスターズオーナー。



マイクロオービター社との共同研究 超小型衛星「MicroOrbiter-1」が完成

- 本学の卒業生モムニ・ファード氏（マイクロオービター社 CTO）が主担当となって開発しています。
- 衛星は2023年昨年12月1日にJAXAに納入し、3月下旬に米国スペースX社のISS向け貨物運搬用ロケット「ファルコン9」でISSに届けられ、4月下旬にISS内のKIBOモジュールから地球低軌道に向けて放出される予定です。



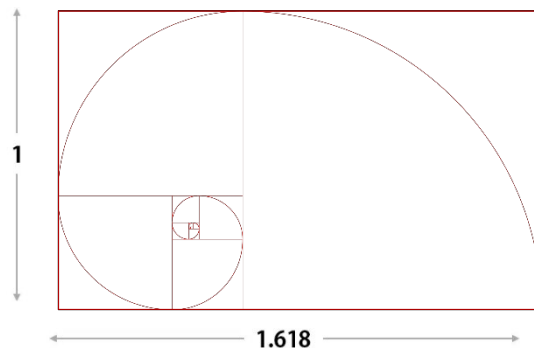
2024年度のトピックス

九工大キービジュアル／キャッチコピー

- ・ブランディングの一環として、九工大のキービジュアルとコピーを作成しました。

校旗をモチーフ

校旗は、人間が最も美しいと感じる比率「1:1.6」(黄金比)によりデザインされている。ビジュアル展開は、この図形をアプリケーションごとにモディファイしデザイン。



○カラーについて
地彩の紅、黝(ユウ:重いネズミ色を現す)は、
鋼鉄及び鋳鉄(チュウテツ)の堅実に擬え、
又工業の象徴たり。



DIC-198
C10%/M85%/Y88%/K0%
R232%/G66%/B32%



DIC-651
C5%/M0%/Y0%/K40%
R159%/G161%/B159%

最先端にも できないことを。

私たちのビジョンは「未来思考」。大切なのは、まだ見ぬ未来にどう立ち向かうか、だ。たとえ最新の技術でも、誰も経験していない課題は太刀打ちできない。そこで、私たちは思考する。想像が、技術とかけ合わさって革新になる瞬間まで地道に、愚直に、何度でも。さあ、世界が解決策を待っている。頭の中にある景色を、その手で現実にするんだ。

未来を思考する「モノづくり」と「ひとづくり」



国立大学法人
九州工業大学



Kyutech

「未来思考実証センター」を設置しました

- 学術的シーズから社会実装まで深い溝を埋めるため、アイデアの実証、価値の可視化、法規制・標準化等の機能を持った「未来思考実証センター」を設置。
- 2025年3月に未来思考実証センターが入る「九工大未来テラス」を竣工予定。

※2023年度文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」採択



九工大100%出資会社 「Kyutech Arise」を設立しました

- 卒業生やエンジニアなどの社会人向けに、リカレント・リスキリング教育、研修、就業支援事業などの生涯学習支援を行う人財育成プラットフォーム会社です。

「生涯学習支援」として、人生の歩みに合わせた
テイラーメイドでの学びと実践の循環を創出



会社概要

商号 株式会社Kyutech ARISE

設立 2024年4月1日

所在地 福岡県飯塚市川津680-4 九州工業大学 飯塚キャンパス内

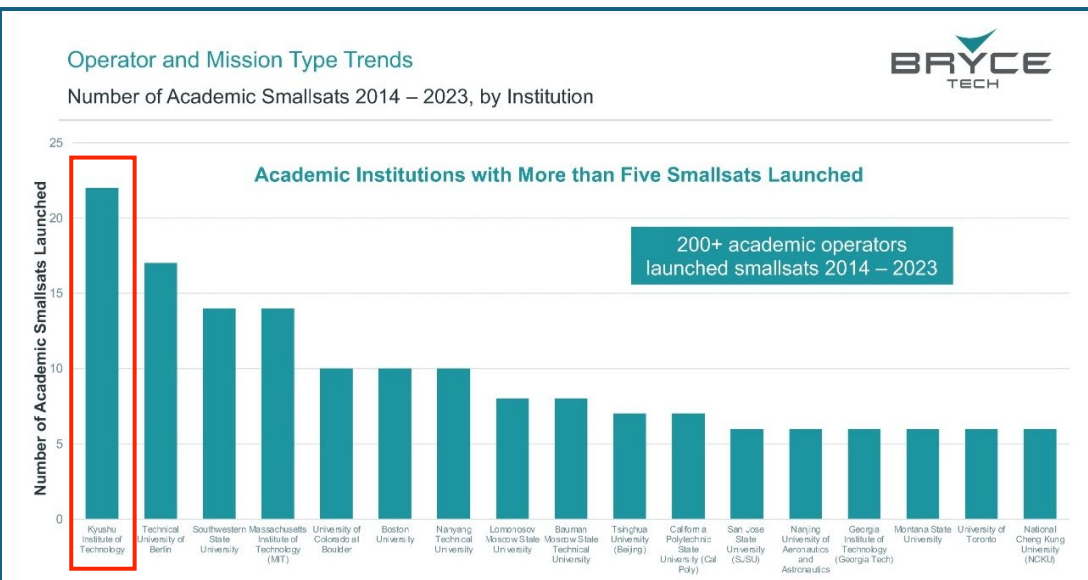
株主 国立大学法人九州工業大学 100%出資

九州工業大学が小型衛星分野で7年連続 世界1位!

- 宇宙産業に関する調査で世界的に知られる「BryceTech」(米国バージニア州)が発行したレポート「Smallsats by the Numbers 2024」が公表されました。
- 運用する小型・超小型衛星の数において、九工大は大学・学術機関の中で世界1位となりました。これは2018年から7年連続の1位となります。

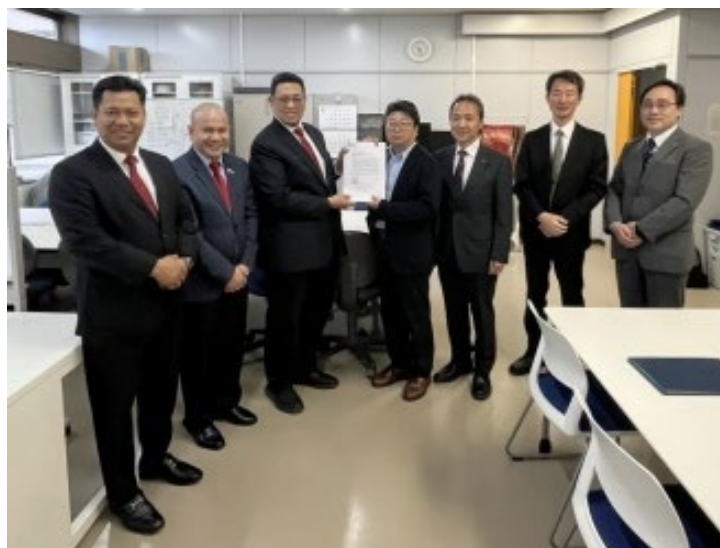
■ 学術機関の小型衛星数(2014年-2023年)

1位:九州工業大学(日本) 22
2位:ベルリン工科大学(ドイツ) 17
3位:サウスウェスタン大学(アメリカ) 14
マサチューセッツ工科大学(MIT)(アメリカ) 14
4位:コロラド大学 (アメリカ) 10
ボストン大学 (アメリカ) 10
南洋理工大學(シンガポール)10



九工大-マレーシアプトラ大学のサテライトセンターを開設しました

- 九工大の国際交流協定校であるマレーシアプトラ大学のキャンパス内に本学拠点MSSCを設置して2023年で10年を迎えたことを機に、本学との連携強化のために本学を訪問・滞在するUPMの教職員の拠点となるスペースを若松キャンパスに設置しました。
- 開所式では、JSSC設置に関する趣意書(Letter of Intent)の署名式及びJSSC看板設置式が行われました。



「九州工業大学女子工学シンポジウム2024」を開催しました

- 2024年3月29日、工学部(戸畑キャンパス)において、女子学生サポート&エンカレッジコミュニティ”W for W Kyutech”*が、「第4回MIRAIの工学女子セミナー」を開催しました。
- 2024年4月5日、情報工学部(飯塚キャンパス)において、情報工学部・大学院情報工学府に入学した女子学生を対象に新入生交流会『THEA x Topos』を開催しました。



北九州フィルムコミッションにロケ地 協力をしています

- 2024年7月12日公開の映画「大いなる不在」
戸畑キャンパスで撮影されました。

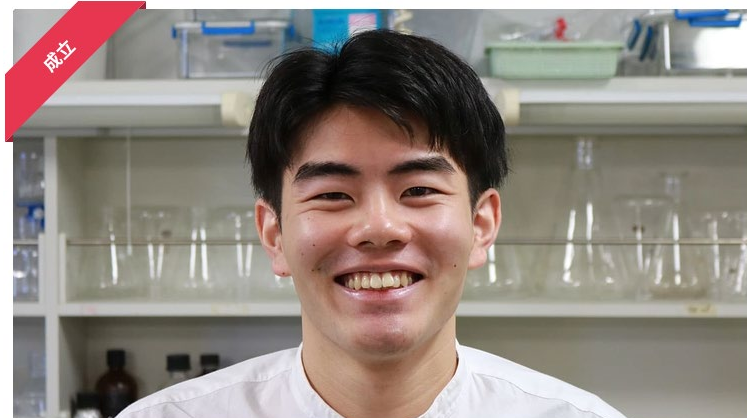


RoboCup 2024 @Home DSPL(世界大会) でHibikino-Musashi@Homeが優勝!

- オランダ・アイントホーフェンで開催された世界最大のロボット・人工知能競技会で優勝という快挙を達成しました。
- 8月9日は、北九州市武内市長を表敬訪問し、優勝の報告とデモンストレーションを行いました。



クラウドファンディングに挑戦した学生グループが2団体とも目標金額を達成しました!



種別	プロジェクト名	実施期間	目標金額	達成金額	資金使途
寄付金 控除型	サッカー部 九工大サッカー部の歴史を 繋ぎ、3年連続の九州2部リ ーグ残留へ!📌	6月7日 ～7月31日 (募集終了・ 成立)	140万円	191.3万 円	登録費などの必要経 費、遠征費
寄付金 控除型	前田研究室 九工大に学生主体の研究ブ ームを巻き起こしたい!📌	6月19日 ～7月31日 (募集終了・ 成立)	60万円	61.1万円	研究費(材料合成費、 菌株購入費、細菌群 集構造解析費、実験 資材(培地、試薬な ど))、研究交流会費

女子中学・高校と連携教育を行っています

- ・ 相互の教育に係る交流・連携を図ることを目的とし、連携協定を締結しています。
- ・ 筑陽学園中学・高等学校で、教育連携プログラムや研究室見学を実施しました。
- ・ 中村学園女子・高等学校で、大学授業体験や特別講義、研究室見学を実施しました。



九州宇宙ビジネスキャラバン2024 北九州市を開催しました

- 本学 北村 健太郎(大学院工学研究院 宇宙システム工学研究系 教授)が実行委員長を務め、九州・山口で宇宙産業を盛り上げるため、市と企業と学生が集まり、最新情報を共有し意見交換を行いました。



小中高生へアントレプレナーシップ教育を展開しています（JSTによる支援）

- 9月14日、9月21日の2日間、「ゲームで学べるアントレプレナーシップ」を開催し、小学生・中学生計42名が参加しました。
- 9月22日～23日の2日間、戸畑キャンパスにおいて、宇宙・衛星開発アントレプレナーシップ教育プログラム「Space Business Bootcamp」を開催し、中学生・高校生25名が参加しました。



住戸リノベーションコンペ2024 最優秀賞が決定!

- 「UR到津南団地」のリノベーションプランを学生たちが提案し、最優秀賞に選ばれた作品は、UR賃貸住宅のリノベーションプランとして正式に採用され、2025年3月には実際に工事が完了し、入居希望者の募集が行われます。



【最優秀賞】

「離れて繋がって」

崎濱 安寿さん

(大学院工学府 博士前期課程 工学専攻 建築学コース 1年)

第5回九工大起業家コンテストを開催しました

- ・ 九工大起業家コンテストは、若手の起業家精神を育成し、社会ニーズに基づくイノベーションを促進する登竜門です。9チームが挑戦し、最優秀賞などが選ばれ、優秀チームには海外派遣プログラム推薦やビジネスプランコンテストの特典が授与されました。



○最優秀賞(1チーム)
超小型人工衛星ミッションインテグレーター
○優秀賞(2チーム)
次世代スライド発表プラットフォーム(DeckHub)
月面移住に向けたインフラ構築
○奨励賞(3チーム)
実践的ツールを用いた半導体設計人材育成事業
ドローンを活用した火災対応システムの全国的な導入
自然言語処理を用いた暴言・スピーチロック検知システム

増子宏文部科学審議官が本学を視察しました

- 2024年9月18日、文部科学省より、増子宏文部科学審議官(科学技術担当)が九工大を来訪し、視察を行いました。マイクロ化総合技術センターでは、中村和之センター長より、センターの紹介、自立運営に向けての取組、社会貢献や人材育成の状況についての説明を行い、半導体人材育成の状況について意見交換を行いました。



中村和之センター長による
マイクロ化総合技術センターの紹介



九工大発の協調移動ロボットベンチャー
である株式会社TriOrbによる
全方向移動ロボットの紹介



田向権研究室Hibikino-Musashi@Homeに
よるサービスロボットのデモ

経済産業省 令和6年度「基盤的共同研究開発に関するオープン&クローズ戦略策定の推進・体制整備強化に向けた実証調査事業」に採択されました

- 2024年10月8日、九州工業大学」と株式会社TriOrbは、経済産業省より令和6年度「基盤的共同研究開発に関するオープン&クローズ戦略策定の推進・体制整備強化に向けた実証調査事業」に採択されました。

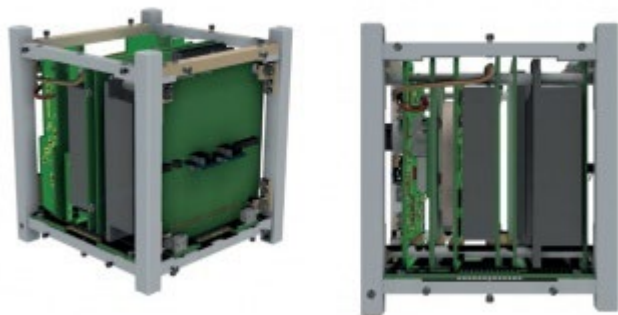


株式会社TriOrb(トライオーブ)は、(国研) 科学技術振興機構 大学発新産業創出プログラム (START: 九州工業大学/産業技術総合研究所) により創出された九州工業大学発の協調移動ロボットベンチャーです。

参照: (株) TriOrb公式サイト

本学教員がプロジェクトリーダーを務めるチームが国際標準規格ISO-17981を成立しました

- 革新的宇宙利用実証ラボラトリーが2019年度から取り組んできましたCubeSat インターフェースの国際標準規格、ISO-17981 “Space systems — Cube satellite (CubeSat) interface”が2024年8月15日締め切りの最終投票にて承認され、国際標準化機構(International Standard Organization)の正式な国際規格として成立することとなりました。



規格の中で紹介されたBIRDS-Bus



2019年12月に東京にて開催された専門家会合の集合写真

【武内市長ご講演】 未来かけるポテンシャルトーク 北九州市×九工大

- 北九州市の武内市長と、九州工業大学教員、学生が参加するスペシャルトークイベントを開催します。グローバル挑戦都市を目指し、将来を担う若者に投資を行っている北九州市の高い技術力と、これからの社会で輝く若者のポテンシャルについて、語っていただく内容となっております。

2024

11月6日(水)

会場：九州工業大学 GYMLABO
時間：16:20～17:50 (90分)



武内和久北九州市長講演



北九州市の新ビジョンや技術のポテンシャルについて講演。応援メッセージも！

武内市長プロフィール

平成6年に厚生省（現：厚生労働省）に入省、アクセンチュア株式会社、マッキンゼー・アンド・カンパニー、KBCのコメンテーターなど幅広く活躍。九州国際大学客員教授を得て、昨年、北九州市長に就任。

技術者トーク（産業経済局長、八幡東区長）

北九州市役所の技術者として、幅広く活躍している先輩等の生の声を聴くチャンス！

パネルディスカッション

- ・テーマ 北九州市と技術の未来
- ・コーディネーター：上條特任教授
- ・パネラー：武内市長、市の技術職員（産業経済局長、八幡東区長）、古武教授(工学研究院/建設社会工学研究系)、九工大生

申し込みはコチラ



©ていたん＆ブラックていたん,北九州市

九州工業大学の学生が発案！ 「ネジチョコ ロケット&超小型衛星」が 11/11に発売開始いたします

- 九州工業大学は、北九州市のお土産「ネジチョコ」を製造・販売しているオーエーセンター(株)と共同で「ネジチョコ ロケット&超小型衛星」を開発しました。この商品の開発には、九州工業大学で宇宙について学ぶ学生が発起人となり、九州工業大学で実際に開発され、人工衛星が箱のデザインに採用されています。また、チョコレートはロケットの部品や人工衛星にデザインされ、ロケットの部品は実際に組み立て可能です。



※今回の商品開発発起人
九州工業大学大学院工学府
工学専攻宇宙システムコース1年
畠山 雄樹（はたけやま ゆうき）



※商品イメージ

商品名	ネジチョコ ロケット&超小型衛星
製品コンセプト	組み立てられるロケット、人工衛星チョコレート
価格	税別1,000円
内容量	8個入り（ホワイトチョコ6個、カカオチョコ2個）
発売日	令和6年11月11日（月）
発売場所	・GRAN DA ZUR（グランダジュール） （北九州市小倉南区葛原1-12-23） ・ネジチョコラボラトリー オンラインショップ (https://grandazur.buyshop.jp/) ※上記店舗以外のほか、販売店舗拡大に向け調整中